

ケアマネ かわら版

2014年
4月号

Vol.43

松江地域介護支援専門員協会

事務所：〒690-0011
松江市東津田町1806-1
あおぞら介護センター内
TEL (0852)20-2123
E-mail: FAX (0852)20-2122
aozora-j@videw.com

繋がろう若手ケアマネジャー

ワイ＼(°▽°)×(°▽°)×(°▽°)ノワイ

松江地域介護支援専門員協会 広報部長

井上 龍一

平成26年4月の消費税率8%に伴い、介護報酬が0.63%改定されました。さらに次期制度改正案の趣旨については、①効率的かつ質の高い医療提供体制の構築、②地域包括ケアシステムの構築、③地域における医療及び介護の総合的な確保、等を含めた内容となっています。今後は全国一律ではなく、地域ごとの取り組みが重要になりますが、急性期医療から在宅医療・介護までの一連のサービスを総合的に提供していくためにも、介護、医療、地域を中心とした繋がり、新たなネットワークの構築も必要となるでしょう。

ところで、以前から「他職種連携が大切!」との話はよく聞きますが、ケアマネジャー同士の連携はどうでしょうか?同じ職種なので、連携できて当然でしょうか?ケアマネジャーのネットワークって、どのくらい繋がっているのでしょうか?ベテランケアマネジャーの皆さんは多くのネットワークをお持ちでしょうが、私のような経験年数の少ないケアマネジャーは「相談できる知り合いがいなくて…」等と感ずることもあります。

また、「繋がる」とは具体的にどのような事だろう?と思い、コトバンクで調べてみると(笑)、『①離れているものが結ばれて、ひと続きになる。』とあります。なるほど、「面識の無いケアマネジャー同士が、会話を交わせば、それが繋がりができるという事かしら。」バラバラなものが糸で連なるようなイメージを感じました。

そこで、若いケアマネジャー同士のネットワークを作るためには、先ずは繋がり作りからだ!と、若手ケアマネジャーを対象とした繋がり作りの活動を始めました(´・ω´)と言っても、いわゆる「飲みニケーション」ってヤツですけど。数か月に1度の開催ですが、毎回、十数名の参加があり、初対面の方も多いようです。この会を機に少しずつでも繋がり関係が芽生えていけば、やがて大きなネットワークになってくれるのではないかと期待しています。

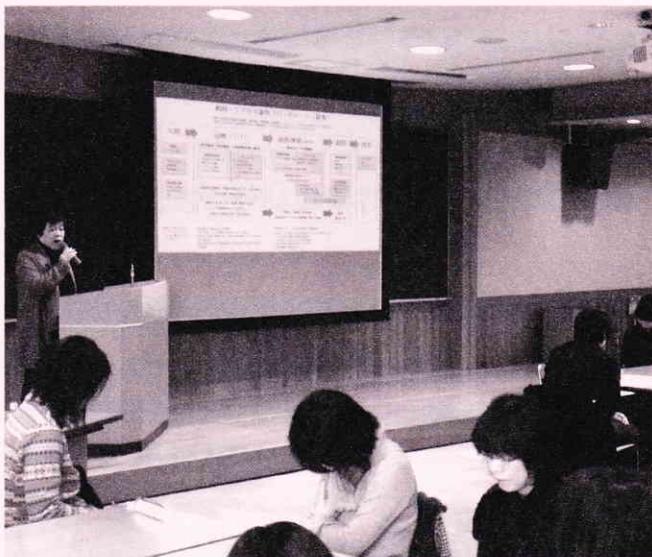
また、若手ケアマネジャーに期待するもうひとつは、世代間の繋がり作りです。介護保険制度の発足当初から現在まで、現場を引っ張ってこられた先輩ケアマネジャーの皆さまから、これまでの経験やノウハウ、知識や技術をしっかりと学び、引き継いでいかなければなりません。団塊世代が高齢化のピークを迎えるであろう2025年は、まさに現在の若手ケアマネジャー達が成長し、介護保険制度の中心となって活躍していることでしょう。

今後も、高齢社会の状況変化に応じて介護保険制度は改正され続けるでしょう。常に新しい情報に関心を持ちながら、様々な問題、課題がどのように変化していくのかイメージしていかなければなりません。情報交換できる仲間、信頼できる仲間、愚痴の言い合える仲間、切磋琢磨できる仲間。同じ職種だからこそ、すばらしい仲間達と繋がることができます。これから先10年を見たネットワークを、若手ケアマネジャーが中心となって構築していきましょう!

退院時における「マネジメントプロセス」を考える ～「退院時カンファレンス」での力を身につける～に参加して

～MSWより～

松江記念病院 仲 佐 高 宏



チームの力を信じましょう。

1月18日、いきいきプラザでの介護支援専門員との合同研修会に参加させていただきました。

研修は、あんしん小原さんによる「退院に向けてのマネジメントプロセスを理解する」と題した講義や行政からの説明、ロールプレイやグループワークでした。

MSWを経験した介護支援専門員である小原さんの講義を聞けるとあってわくわくした気持ちで参加し、内容を聞けば聞くほど、「なるほど」という気持ちや、「やらなければいけない」という気持ちが湧きつつも、日頃出来ていない自分を痛感させ

られました。

中でも印象に残っているのは、「利用者本人や家族の不安を掻きたてるような言動に注意すること」、「声掛けをしっかりとすれば本人や家族が課題を解決することが出来る」と言われたことでした。実際、もし自分が退院後に不安を持っている場合、どっしりと構えられ、この人ならば安心して任せられるという人がいるのといないでは大きな差があると思います。

正直、退院支援をする中でこの人が退院しても大丈夫かな？と思いながら退院していく患者・家族がおられます。しかし、その退院された患者・家族が現在も安心して生活を送っておられるのは介護支援専門員が在宅での生活を陰で支援されている力が非常に大きいからだと思います。

私自身「安心して退院後の生活を送ってもらう」を共通目標に今後も介護支援専門員の方たちとチームを組み連携を深めながら、自分自身日々研鑽していきたいと感じた研修でした。

これからもこのような機会があれば是非参加したいと思いますので、宜しくお願いいたします。また病院に来られた際には、気軽に声を掛けて頂ければと思います。ありがとうございました。

■ ■ ■ ■ ■ ■
全国介護タクシー協会会員

車椅子タクシー

ほの か

病院や施設、お買い物の送迎に御電話お待ちしております。

〒699-0203

島根県松江市玉湯町布志名637-96

TEL 0852-62-2206 FAX 0852-62-2306



福祉用具販売・レンタル、住宅改修、医療機器、中古販売

平成メディカルサービス CO.,Ltd.

(介護保険事業者番号 3270100336)

本社

〒690-0045 松江市乃白町471-3

TEL(0852)22-8566 FAX(0852)22-8567

メンテナンス事業部

〒699-0406 松江市宍道町佐々布868-41

TEL/FAX(0852)66-3700

ベッド関連・マットレス・車椅子関連等各種
洗浄、消毒、保守点検

ケアマネジャーの皆様へ感謝とお祝い

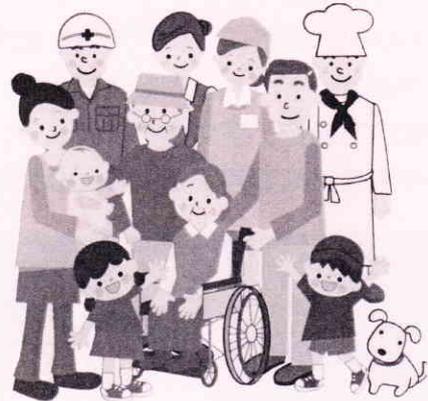
松江市介護保険課給付係長 小 汀 雅 夫

ケアマネジャーの皆様への頑張りには本当に感謝しています。業務を遂行されるにあたっては、困難ケースもたくさんあると思います。それでも、いつも笑顔を忘れず？に日々エネルギーに勤務に励んでおられます。

市役所の職員は事務職が多いうえに、ローテーションで異動があり業務内容がその度が変わりますから、皆様から助言を求められた場合にも、専門的なお答えができないことがあります。それでも、皆様から感謝の言葉をいただいたりもします。誠にありがとうございます。

さて、介護保険制度が発足してから15年近くになりますが、3年に一度の事業計画の節目ごとに制度変更があります。皆様ご承知のとおり、現在開会中の国会においても、給付に関わることを中心として制度変更について議論が行われており、これからは制度が変化していくことが予想されます。

とはいえ、皆様がサービス利用者、家族、事業者等を繋ぐ重要な役割を担っていただくことに、変わりはありません。人それぞれで方法は多少異なるかもしれませんが、利用者、家族が健やかな生活を送れるようにするという目標は同じであると思います。同じ志を持つ協会の仲間皆様とともに、今後も業務に邁進していただければ幸いです。



福祉用具の レンタル 販売 住宅改修 ヤマサト



有限会社 山本梱包 福祉サービス事業部
〒690-0021 松江市矢田町 474-9
TEL 0852-24-3563 FAX 0852-24-3534

スマイルケア



福祉用具のレンタル
販売・住宅改修のことなら

スマイルケア宍道事業所
松江市宍道町白石 81-10
TEL 0852-66-3900

株式会社 原商

スマイルケア松江事業所
松江市西法吉町 36-28
TEL 0852-32-0294

安全で安心に在宅生活を送れる
お手伝いをぜひさせてください！

「橋北」でも「橋南」でも「土・日、祝日」でも
「だんだん道路」で迅速・丁寧な対応します！

福祉・介護用品の「陽だまり」

松江市西川津町748-51 TEL: 61-4388

福祉用具・介護用品の店

げんき堂

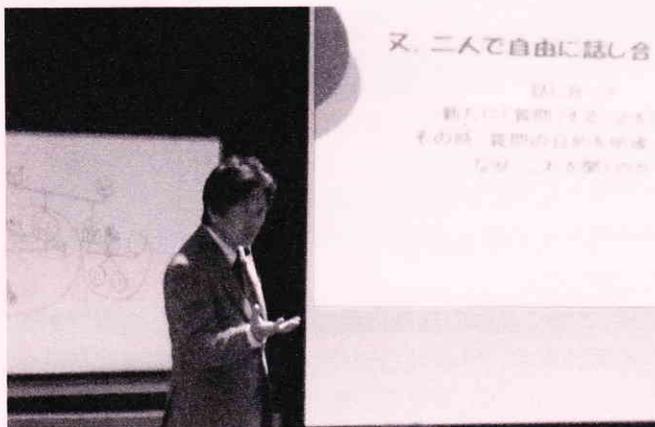


本店 〒692-0011 安来市安来町 1083
☎0854-22-3652 FAX 0854-22-4222

松江店 〒690-0012 松江市古志原3-7-31
☎0852-28-6041 FAX 0852-28-6045

家族理解入門の研修会に参加して

回春ケアマネージメントビューロー 渡邊修一



3月1日(土)、いきいきプラザ島根にて、団士郎先生による、「家族理解入門」の研修会に参加させていただきました。昨年、当事業所の所長が私に伝えようと熱く語っていた研修でしたので、期待感を胸に参加いたしました。その中で伝えていただいたことは、家族を理解するということは、相談者の家族にはどのような歴史があり、そして今ここに理由を理解するということ。それが相手を理解することとなり、相手の家族を理解することに繋がるということでした。

家族には家族の歴史があり、そしてそれぞれの文化があります。話法・言葉使い等々を把握し、ファーストコンタクトを行なうことが必要だということでした。特に初回の面接は重要で、信頼が得られない状況となれば、その後の関係の構築は非常に難しくなるということも伺いました。聞き方についてですが、長時間話を聞くのが良いということではないし、多くの情報を集めるのも目的ではないということ。対面場面は内容よりも形式で構成されるところが大きい。支援者の人柄だけでは、支援は難しく、技術を用いず、持ち味だけで仕事をしてしまうことでは、継続した支援は行なえないということでした。

そこで、初回面接の重要なツールとして、ジェノグラムの書き方を教えていただきました。ジェノグラムを用いることで家族模様が一目で把握でき、家族がどのよう

な関係にあり、時の流れにつれてどのように繋がりが変化しているのかということ把握できます。どのような問題があり、どのような家族かを平行して試みることで、家族は何ができるのかを把握することで、それぞれの役割を決めることができるということでした。

ジェノグラムを作る上で注意しなければならないことは、可視化するために、一目で分かりやすく書くことです。これがカンファレンスの時には特に大切となります。また職場の上司や同僚にケース相談を行う時にも、ジェノグラムを用いると、問題の本質が理解されやすくなります。

職場内では、共有できるジェノグラムの作り方を決めておくことが、共通言語となりまし、共通理解の重要なツールとなりえます。

団先生は、ジェノグラムは面接時に書くようにすることとおっしゃいました。後で書くのは業界人のメモでしかないとも話されました。初回面接時に用件が一区切りしたら、家族と共にジェノグラムの作成を行なう。共に作成することで、様々な疑問が出てくる。家族に質問しながら作成することで、家族歴が把握できるようになると話されました。そして支援者は、相手に受け止めてもらえるボールを投げることをしなければならないことが重要だとも話されました。

下手な面接は病状や症状のみを聞き、相手を理解したように思い込んでいることです。相談者の家族を理解すると、家族の課題が見えてきます。支援者は質問力を鍛えることが必要だと教えていただきました。

今回の研修に参加させていただきまして、自分の課題が多くあることに気づかされました。ともすれば、病状・症状のみを把握し分かったような気持ちになっていることが、これまで多くあったと思います。家族という形態は普遍で、その家族理解がなされなければ、本当の支援は行なえないことを教えていただきました。ご本人・ご家族に少しでも信頼していただける支援者になる事ができるよう、この研修で学んだことを実践していけるよう、面接を行なっていきたいと思います。

サービス付き高齢者向け住宅 花きりんハウス 東出雲



介護力!!

〒699-0111 松江市東出雲町意宇南5-4-1
TEL: 0852-67-5010 FAX: 0852-67-5011
ホームページ: <http://hanakirin.net>



◆ホームページ内容◆

- ・レンタル・販売商品最新情報
- ・キャンペーン情報
- ・住宅改修
- ・会社概要 など

ケアマネージャー様専用資料集公開!!

<http://kaigo-fukushi.jp/>

WEED株式会社ウィードメディカル

〒690-0047 島根県松江市嫁島町10番地7
TEL: 0852-60-2661 FAX: 0852-60-2664



ケアマネ協会 各部署からの抱負

制度調査部 小原 央子

制度調査部では、会員のニーズ及び現状を把握し、多職種・他委員会と連携を図りネットワーク作りや業務がスムーズに遂行できるようにします。

- 会員のみならず介護支援専門員としてのニーズ調査及び把握を行う。
- 制度解釈を含む介護支援専門員の業務改善への取り組みを図る。(ケアマネマニュアルの充実)
- 他職種を含めたネットワーク作り、行政、医師会、看護協会等との連携を更に強化して、介護支援専門員としての専門性を発揮できるような環境づくりに勤めてまいります。

広報部 井上 龍一

昨年から引き続き、広報部長を務めさせていただきます、愛桜苑の井上と申します。

昨年から6ページにパワーアップした「ケアマネかわら版」!今年度も、年間3回の発行を予定しています。広報誌を通して、会員の皆様に、地域・他職種連携などタイムリーな情報や、活動内容、研修報告等の発信できればと考えております(´・ω´)

また、会員の皆さまからのご意見・ご要望・面白ネタ等も随時募集しておりますので、お気軽にお近くの協会役員までお伝えくださいませ。



研修部 渡 勇人

協会主催研修に多数ご参加頂き、ありがとうございます。昨年度は皆様から頂いたアンケートを基にして、施設ケアマネと居宅ケアマネ、そして医療関係者と顔の見える「合同研修」として年3回開催して参りました。

医療機関からの退院時連携についてMSWより講義を戴いたり、退院時カンファレンスへ向けた松江市版ケアマネマニュアルを活用した講義とロールプレイ、そして、団士郎先生の家族療法パート2と要望の高かった研修を行いました。

結果、本当に多数の皆様に参加頂き、充実した内容であったと思います。今年度も皆様からの要望を数多く取り入れ、お互いに顔の見える、繋がりが持てる、参加して良かったと言われる研修を計画していきたいと思っております。是非、多くの皆様の参加をお待ちしております。

事務局 福田 武志

事務局では魅力ある協会作りのために、各部会との連携をきちんと図り、スムーズな運営と楽しく活動ができるように努めます。

- 島根県ケア方針確立体制構築推進事業の有効活用。
- 会員証の発行及び関係機関への周知。
- 新規会員入会へのPR活動。
- 松江市、医師会を始めとする関係機関との連携強化。事務局一同がんばりますので、今年度もご協力の程宜しくお願いします。

～ケアマネ相談窓口の開設のご案内～

この度、松江赤十字病院にケアマネ相談窓口が開設されることとなりました。

これまでは患者サポート室として患者さんやご家族さんからの相談に対応していましたが、在宅介護との連携強化を目的として、ケアマネジャーからの相談にも対応してまいります。みなさん、お気軽にお立ち寄りください。

編集後記

*まだまだ寒い日が続きますが、職場の庭には梅や猫柳、水仙が咲き確実に春の訪れを知らせてくれています。

仕事はたまる一方で落ち込みますけど、やっぱり春っていいなあ~と思う今日この頃です。

さて、H26年度は消費税率8%の引き上げに伴い、介護報酬も改定となります。故に介護保険自己負担も上がることとなり、利用者さんの負担は更に厳しくなるものと思われます。事業所としても文書や言葉で丁寧に説明を行っていく必要がありますが、とても心苦しく感じます。

H27年度の制度改正も概要は示されていますが、相変わらず混沌としているようです。

情報をキャッチしこれからの動向に注目していきましょう!

